

令和3年度の学校経営について

1 学校経営・運営にあたって

(1) 生徒、保護者、地域からの期待に応える。

○ 令和3年度、生徒達も気持ちを新たに新年度がスタートしました。また、保護者、地域の皆さんも本校に大きな期待を寄せていただいています。「生徒のよさ認め伸ばそうとしてくれるのか」、「分け隔てなくしっかりと向き合ってくれるのか」、「しっかりと説明してくれるのか」などの期待に応え、生徒からも保護者からも信頼される学校、生徒達の成長を通して地域からも信頼される学校をつくってまいります。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組は継続します。安全・安心を基盤に、「一人一人のよさが伸びる学校」をめざし、教職員と方向性を確認し協働体制を深めながら、ご家庭・地域との連携を大切に教育活動を進めてまいります。さらに、「陶芸教室」をはじめとする地域の特性を生かした本校ならではの「特色ある教育活動」を展開し、郷土と自分に「誇りと自信」が持てる生徒の育成を目指してまいります。

(2) 信頼される学校・教職員が全ての土台 ～不祥事を自分事ととらえる～

○ 「信頼」が教育を行う場、教育に携わる者としての土台であることを改めて確認するとともに、教育に携わるものとしての自覚と誇りを大切に、信頼される学校、教職員を目指してまいります。特に、交通ルール違反、体罰、わいせつ・セクハラ、個人情報紛失などについての規範意識を高めるとともに、第三者の視点からも指摘や誤解を受けることのない言動に努め、組織としても不祥事を起こさないような関係性を大切にまいります。

(3) 生徒達を本郷中学校全体で育てていく視点で。

○ 中規模の学校で職員数も限られている中、学校全体で生徒を育てていく視点を大切にしております。学年だけで問題等を囲わず、共通理解のもと全体で指導を進めてまいります。そのための情報共有、共通実践につなげることができるような組織体制で臨んでまいります。また、日頃より風通しのよい職場環境、困ったことを相談したり協力し合えたりする教職員の関係づくりを進めてまいります。

2 教育目標・スローガン ～郷土を愛し地域と共に歩む学校～

○ 教育目標 ～夢の実点を目指し、たくましく生きる生徒の育成～

- ・ 自ら学び考える生徒
- ・ 他を思いやる生徒
- ・ 自ら心身をつくる生徒

○ スローガン

「素敵な」(伝統) + 「前向き」(R2) + 「感謝」(R2後期)
+ 「相手の心に響くあいさつ」(R3)

3 学校経営・運営ビジョン の実現にむけて・・・ビジョン（別紙）

○ 教育目標の実現にむけて、県教委、町の施策を踏まえ、地域、関係機関との連携を深めながら教育活動を展開してまいります。

<知>・・・職員研修とタイアップ

- ・ 自分の考えを持ち表現し合う活動（学び合い）の充実
 - ※ 「主体的、対話的で深い学び」の視点からの授業改善を進める。
- ・ 1人1台のタブレット端末活用
 - ※ 積極的な活用を進める。持ち帰りルール等の速やかに策定する。
 - ※ 学習指導ばかりでなくアンケートの回答などの活用も期待される。
- ・ 個に応じた学習方法の支援
 - ※ よさの共有、認め励ます支援、がんばりが確認できる場（検定、学習コンテスト等の実施）を計画的に設けます。
 - ※ 教科担任と学級担任が連携し、家庭学習の充実に向けた取り組みを支援します。
- ・ 郷土人材の活用
 - ※ 人権教室、部活動（陸上、卓球、野球部）等での地域の協力をいただきます。

<徳>・・・道徳教育、生徒指導、特別活動、総合等での実践

- ・ 道徳科の授業の充実
 - ※ 学年体制による道徳科の授業実践を継続する。
- ・ WebQ Uアンケート（町予算）の活用
 - ※ 生徒個々や集団の実態を把握し、学級づくりや意欲づけを進める。
- ・ 自己肯定感を高めるための見取りや称賛
 - ※ 結果だけでなく途中の取り組みを見取りながら支援等を行う。
- ・ 生徒会がつくった「SNS使用のやくそく」の活用
 - ※ 振り返りの機会を計画的に設けるとともに、家庭へ周知する。
- ・ 地域のよさを生かしたキャリア教育の推進
 - ※ 町内の窯元さんの協力をいただき陶芸教室を実施するとともに、「せと市」での販売体験、りんご農家での摘果体験などをとおして望ましい職業観や勤労観を養う。

<体>・・・健康教育・体力づくり

- ・ 昨年度に引き続き「寄り添う」ことを大切に対応していく。
- ・ S Cの活用
 - ※ 全校生対象グループカウンセリングを実施するとともに、保健室の活用と併せ連携強化を図る。
- ・ 生徒が主体的に活動できる部活動指導
 - ※ 平日1日はノー部活動日、土日いずれかは休み（通常部活3時間）とする。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策
 - ※ 朝の検温・手指消毒・マスク着用の徹底指導、「三密回避」を進める。
 - ※ S S S（スクールサポートスタッフ）による消毒活動を実施する。
 - ※ 「リモート」による生徒会総会、諸行事等を進める。
- ・ 自分手帳活用等による自己管理能力の育成
 - ※ ふくしまっ子健康マネジメントプラン（R 3～5年度）と連携